

1 この科目の構成について

教 科	英語	科 目	英語表現Ⅱ	単 位	2単位
対象コース	カレッジコース	対象クラス	3年1組		
使用教科書	Vision Quest English Expression II				
使用副教材	ユメタン②、Vision Quest English Expression II Workbook, Vision Quest				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。①英語表現Ⅰで学んだ学習事項を元に、新たな表現を習得する②センテンスライティングだけでなく、文の構成を理解しパラグラフライティングへ展開する。③お互いに書いた文章を読み、相手の表現したいことをくみ取るのももちろん、相手の使った表現を自分でも使えるようにする。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	表現するというのは紙ベースのものだけでなく、オーラルベースのものや、ジェスチャーによるものもある。様々なものを用いて表現する態度を養成する。各レッスンは Story を題材にしたリスニングタスクやリーディング、Study point や Expression を題材にした Reproduction などを通して4技能全般に刺激を与える。また知識習得にとどまらず、GOAL を用いたまとまった英作文を生徒同士で読み合ったり、添削をするなどの活動を通して、表現する技術を高めていく。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校	コミュニケーション英語に比べて、発信側に回ることの多いこの科目は授業への積極的な参加が求められます。各レッスンで渡されるハンドアウトを元に自身の4技能を錬成をする。
(2) 家庭	毎時宿題が出されるわけではないこの科目では文法や表現の自身での習熟が大切なものになる。宿題となるのは exercises や Workbook、GOAL など。各レッスンの最後の方に集中する。

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	評価の観点「定期考査」「課題提出状況」「授業への参加」「小テストの成績」の4つの合算で評価する。定期考査は期間内の学習内容についての理解度を見る（6割）。課題提出状況では日々の課題への取り組みの内容を見る（2割）。小テストは週1回のユメタンテストの平均点が反映される（1割）。また授業への参加は出席率はもちろん、授業に取り組む姿勢、情報を理解し、英語で伝える姿勢を評価する（1割）。
評価における定期考査の割合	60%

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度	間違いを恐れず、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
(2) 思考・判断	与えられた状況において、適切に話し伝えることができる。また相手が言ったことを正しく聞き取ることができる。
(3) 技能・表現	学んだ文法や表現を使い、与えられた課題について文章を書くことができる。
(4) 知識・理解	それぞれの Lesson で確認した文法や表現を理解し、知識として定着している。

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知
1	4		この授業での学習サイクルは以下のように展開する 1 Story を用いた、リスニングとリーディング、暗唱など 2 文法項目や表現の確認 3 Study Point の Reproduction とそれを用いた表現 4 Exercises や Workbook での履修事項の確認 5 GOAL を用いてのパラグラフライティング				
		Lesson19 思い出深いプレゼント (Gr) 比較 (Ex) 比較の熟語表現	・最上級や原級や比較級による最上級表現を確認し、自身で適切に使う。 ・思い出に残っている過去の出来事やプレゼントについて表現する。(S)	○	○		◎
	5	ワークブック Lesson16～Lesson19 [第1回考査]					
	6	Lesson20 インターネットの問題点 (Gr) 否定表現 (Ex) 否定語を用いない否定表現	・様々な否定表現について確認する ・インターネットの問題点について、具体的な例や論拠を示した上で、まとまった英文を書く(W)	○	○	◎	◎
		Part2 Lesson1 ロボットの有用性 (Ex) パラグラフの構成（列挙、順序） [第2回考査]	・パラグラフの構成を確認し、パラグラフライティングに取り組む ・特に列挙、順序を表すつなぎ言葉を利用してライティングを行う	○ ○		◎ ◎	◎
	7	Lesson2 英語を学ぶ意義 (Ex) パラグラフの構成（例示、追加）	・例示、追加を表すつなぎ言葉を用いて、英語のパラグラフを書く		○	◎	○
	8	Lesson3 都会と田舎 (Ex) パラグラフの構成（比較、対照）	・対比類似を表すつなぎ言葉を使って 2 つの事柄を比較しながらパラグラフを書く	○	◎	◎	○
	9	Lesson4 深刻な黄砂問題 (Ex) パラグラフの構成（原因、理由、結果） Lesson5 ベジタリアン (Ex) パラグラフの構成（要点、要約） [第3回考査]	・原因・理由および結果を表すつなぎ言葉を使って英語のパラグラフを書く。 ・文章の要点をつかみ、つなぎの言葉なども使いながら、要約文を書く	○	◎	○	◎
	10	10月より順次入試問題演習を行う					
	11						
12		[第4回考査]					
1							

